



# 若者の未来を奪う憲法改悪を許さない！

成人式おめでとぅございます

■悲惨な戦争の経験を経て生まれた平和憲法

皆さんが生活している日本は、戦争放棄を宣言した世界に誇る素晴らしい「平和憲法」を持っています。

日本人が310万人、日本軍の侵略によりアジアの人々が2千万人、第二次世界大戦全体で5千万人を超える人命が奪われました。多くの人命を奪ったこの戦争の経験を経て、「日本はもう二度と戦争をしません」と第9条で明確に示した日本国憲法が制定されました。この憲法9条のおかげで、65年間、日本は海外で一人も殺すことなく一人も殺されることなく平和の内に発展してきました。



■平和憲法がかつてない危機に

昨年末の総選挙の結果、民主党政権から憲法9条の改悪を公然と掲げた自民党政権が復活しました。自民党安倍政権のねらいは、憲法9条を変えて、アメリカと一緒に日本を戦争する国にすることです。そのための地ならしとして、自衛隊海外派兵の恒久化、集団的自衛権(※)の行使を可能にする解釈改憲、憲法改正要件の緩和などに手がつけられようとしています。

あなたやあなたの恋人がいまアメリカが世界でやっているように、戦場へ行き、武器を持って人を傷つけ殺し、傷つけ殺されることになるのです。我が子を戦争で死なせることを望む親がいるでしょうか。

■「戦争をする国」にしないため、ともにちからを合わせましょう

日常の生活も、人間としての心も、命もすべてを奪う戦争—このあやまちを二度と繰り返さないと世界に約束したのが憲法9条です。この平和憲法を守り、他国との対立を武力によらないで平和的に解決する努力、平和外交による国際貢献を進めることが、日本の進むべき道です。

若い皆さんも「戦争しない、させない」という憲法9条を守る」、この1点で手を繋ぎ、日本と世界の平和のために、ともに努力しようではありませんか。

※集団的自衛権—日本が攻撃を受けたときだけでなく、同盟国アメリカが攻撃を受けたときも共同で軍事行動を取ることに

九条の会・流山

■連絡先  
TEL/FAX

石林紀四郎 (04-7154-7511) 三原真子 (04-7152-6559)  
山田洋子 (04-7144-3993)

# 「九条の会・流山」 のご紹介

日本をアメリカに従って戦争する国に変えてしまおうとする動きに警鐘を鳴らし、改憲を阻むための一人ひとりの努力を呼びかけ、ノーベル賞作家の大江健三郎さん、澤地久枝さん、井上ひさしさんたちは、2004年に九条の会をつくりました。流山でもこの呼びかけに応じて2006年に、思想も、宗教も、支持政党も超えて広範な人々が集まり「九条の会・流山」が発足しました。



## 憲法第二章 戦争の放棄

### [戦争の放棄と戦力及び 交戦権の否認]

#### 第9条

1 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

## 「九条の会・流山」 入会申込書

私は、九条の会・流山に入会します。

年 月 日

お名前

お住まい

〒

電 話

F A X

E -mail

●ご意見などをお書き下さい。

申込書は、下記へFAX下さるか、会員にお渡し下さい。 FAX 04-7154-7511